

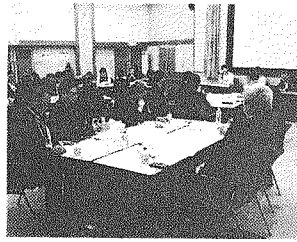
## 大阪「両輪会」に27人参加 事故防止へ課題共有

NPO法人ヘルスケアネットワーク(OCHIS)が主宰する「安全と健康を推進する協議会」(両輪会)が11日、大阪府トラック総合会館で行われた。睡眠時無呼吸症候群(SAS)など運輸業界の健康起因事故の防

止を推進するためトラック、バス、タクシーなどから27人が参加し、自社の課題や取り組みなどを議論して今後の事故防止に役立てる。

協議会は、まず情報提供としてOCHISの作本貞子副理事長が「定期

健康診断の事後フォローによる健康起因事故の防



会  
デイスカッション後の総括で情報を共有する両輪

止について」を説明。ハ  
イリスク者の見える化で  
事故を未然に防ぐため全  
日本トラック協会とも

に構築した「運輸ヘルス  
ケアナビシステム」の紹  
介と狙いを訴えた。

事例紹介では、堀内運  
送の三浦隆志人事課長が  
「社内で取り組むSAS

スクリーニング検査の対  
応について」を報告し  
た。

グループデイスカッシ  
ョンでは5グループに分  
かれ、それぞれの持つ課  
題を本音で披歴して解決  
策を討議。最後に5グル  
ープの議論を総括して情  
報を共有した。